

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（地理）	4	4

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	<ul style="list-style-type: none"> ①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用 ⑩本文以外の記述の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪多面的・多角的に考察させるための工夫 ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
02 東書	<ul style="list-style-type: none"> ①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの右横に「どのような・どのように～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。 ②日本の領域について、本文2ページで扱うとともに、「地理にアクセス」で領土をめぐる問題を2ページにわたって解説している。 ③小単元の終わりに「○○の学習をふり返ろう」、中単元の終わりに「この章の学習の学習を確認しよ 	<ul style="list-style-type: none"> ④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、「試してみよう」を記載している。 ⑤身近な地域の調査の手順を、情報を集める、調査テーマを決める、仮説を立てる、調査計画を立てる、調査する、考察しまとめる、発表する、の7つの段階に分けて示している。 ⑥地球儀を使った距離と方位の調べ方、地図帳を使った国や都市の探し方など、36の事例を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦総ページ（301） 「世界の様々な地域」122（41%） 「日本の様々な地域」155（51%） 「その他」24（8%） ⑧「深めよう」で、「世界の様々な地域」の単元に各1ページで7教材、「日本の様々な地域」の単元に各1から2ページで9教材を記載している。また、「ひであきさんの自由研究」で、自由研究の手順を資料とともに1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨総掲載数 1101点（写真620点、絵図74点、地図218点、図表・グラフ189点） ⑩本文やコラム文章などの上部に参照するページ数や資料の番号を示している。また、「地理スキルアップ」「調査の達人」「地理にアクセス」を掲載している。「えんぴつマーク」「ためしてみよう」などを掲載して学習を深めたり、関連する内容を取り上げたりすることができるようになっている。他の分野とのつながりが強い内容に「分野関連マーク」や「国宝・ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑪一時間ごと見開きページの最後の「確認」により、「～について説明しましょう」「語句を使って説明しましょう」「50字以内で説明しましょう」など説明を求める課題を掲載している。 ⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「韓国の食文化の背景」を例示している。

	う」を各1ページ設けている。また、「地理スキルアップ」「調査の達人」のコーナーを計36か所設定し、学んだことを確認したり、深めたりする「課題」の欄を見開きごとに設けている。			重要文化財マーク」がついている。	
17 教出	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの下に、「学習課題」と表記して「どのような・どのように～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。</p> <p>②日本の領域について、本文4ページで扱い、そのうち、領土をめぐる問題について2ページで扱っている。</p> <p>③小単元の終わりに「学習のまとめと表現」を1ページ設けている。また、「地理にアプローチ」のコーナーを16か所設定するとともに、学んだことを確認したり、活用したりする「ふりかえる」の欄を見開きごとに設けている。</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、グラフ、生徒の吹き出しを記載している。</p> <p>⑤身近な地域の調査の手順を、地形図の利用、地域の観察、テーマの決定、テーマ別の調査、調査結果のまとめ、発表会を開く、レポートの作成、の7つの段階に分けて示している。</p> <p>⑥地図のきまりを思い出そう、地図の種類を知ろうなど、22の事例を記載している。</p>	<p>⑦総ページ(287) 「世界の様々な地域」114(40%) 「日本の様々な地域」141(49%) 「その他」32(11%)</p> <p>⑧「地域から世界を考えよう」で、「世界の様々な地域」の単元に各1ページで6教材、「現代日本の課題を考えよう」で、「日本の様々な地域」の単元に各2ページで7教材を記載している。</p>	<p>⑨総掲載数831点(写真460点、絵図30点、地図209点、図表・グラフ132点)</p> <p>⑩本文下部に参照するページ番号を記載している。また、本文上部に参照する資料の番号を記載している。「側注解説」や「地理の窓」で学習を深めることができる。資料の読み取りに効果的な「読み解こう」や「地理にアプローチ」を掲載している。</p>	<p>⑪一時間ごと見開きページの最後の「ふりかえる」はこの時間で学習したことを振り返って確認するステップ1と学習してきたことを活用して表現するステップ2に分かれている。ステップ1は「書き表わそう」など、ステップ2は「まとめよう」など課題を掲載している。</p> <p>⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「カレーから見た食文化」を例示している。</p>
	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの下に、「学習課題」と表記して「どのような・どのように～でしょうか。」などの問いかけの表現形態で、1時間の</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフを記載している。</p> <p>⑤身近な地域の調査の手順を、テーマを決める、調査方法を考える、野外調</p>	<p>⑦総ページ(289) 「世界の様々な地域」118(41%) 「日本の様々な地域」157(54%) 「その他」14(5%)</p> <p>⑧日本の様々な地域の小単</p>	<p>⑨総掲載数1016点(写真560点、絵図84点、地図182点、図表・グラフ190点)</p> <p>⑩本文下部に参照するページ番号を記載している。また、本文上部に参照する資</p>	<p>⑪一時間ごと見開きページの最後に「確認しよう」と「説明しよう」を掲載している。「確認しよう」は本文の中から学習上大切な事項を書き出す作業などを紹介している。「説</p>

<p>46 帝国</p>	<p>学習課題を示している。 ②日本の領域について、本文4ページで扱い、そのうち、領土をめぐる問題について2ページで扱っている。日本の東西南北の端の島名を書き込むようになっている。 ③小単元の終わりに「学習をふりかえろう」を各1～2ページ設けている。また、「技能をみがく」のコーナーを25か所設定するとともに、学んだことを確認する「確認しよう」、自分の言葉で説明する「説明しよう」の欄を見開きごとに設けている。さらに、資料に関する問いかけや作業を指示する「資料活用」を設けている。</p>	<p>査をする、資料を集めて調べる、調査結果を発表する、の5つの段階に分けて示している。 ⑥地図帳の統計資料の使い方、地図帳のさくいんの引き方など、25の事例を記載している。</p>	<p>元に「トライアル地理」を1～2ページで2教材を記載し、「地域を探ろう」で各1ページ、6教材を記載している。</p>	<p>料(解説文)の番号を記載している。「解説」や「羅針盤マーク」を記載している。また、地理の基礎的な技能を身につけるコラム「技能をみがく」を掲載している。具体的な話を掲載した「声」を記載している。さらに知識を深めたいときに学習する「発展」や資料を活用する「やってみよう」「資料活用」の記載がある。</p>	<p>明しよう」は学習した内容をふまえ、自分の言葉で説明する作業を紹介している。 ⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「韓国の食文化」を例示している。</p>
<p>116 日文</p>	<p>①見開きごとにその内容に応じたタイトルを示し、タイトルの下に、「学習課題」と表記して「どのような・どのように・なぜ～だろう。」などの問いかけの表現形態で、1時間の学習課題を示している。 ②日本の領域について、本文4ページで扱い、そのうち領土をめぐる問題について2ページで扱っている。 ③小単元の終わりに「学習のまとめ」、中単元の終わ</p>	<p>④単元の導入において、見開き2ページに地図、写真、グラフ、生徒の吹き出し、「読み取ろう」を記載している。 ⑤身近な地域の調査の手順を、調査テーマを決定する、仮説を立てる、調査計画を立てる、調査を進める、仮説を検証する、地域の課題をとらえる、調査結果をまとめる、調査結果を発表する、の8つの段階に分けて示している。 ⑥緯度・経度を使った地球</p>	<p>⑦総ページ(289) 「世界の様々な地域」112(39%) 「日本の様々な地域」157(54%) 「その他」20(7%) ⑧世界の様々な地域の小単元に、「自由研究」を設け、各1ページで6教材を記載している。また、日本の様々な地域の単元に、各1～2ページで10教材を記載している。</p>	<p>⑨総掲載数915点(写真516点、絵図56点、地図191点、図表・グラフ152点) ⑩本文下部に参照するページ番号を記載している。また、本文上部に参照する資料の番号を記載している。「(鍵)マーク」や「インデックス」を記載している。また、小学校の学習や歴史・公民の学習とのつながりを示す「連携コーナー」を記載している。関連する特設ページなどを示す「○○○も見てみよう」を記載している。思考・判</p>	<p>⑪一時間ごと見開きページの最後に「学習の確認と活用」が掲載されている。この見開きで何を学んでいくのかを示した「学習課題」に対応している。理解を確かにする活動やさらに考えを深めたり、現実の問題に取り組んだりする問いかけを示している。 ⑫世界の様々な地域の調査におけるまとめ方において「シベリア鉄道班が調べたロシアの様子」を例示している。</p>

	<p>りに「学習の活用」を各1ページ設けている。また、「スキルアップ」を37か所、「言語活動（読み取ろう、考えよう、まとめよう、伝えよう）」コーナーを42か所設けている。さらに、見開きごとに学習課題に対応した「学習の確認と活用」を設け、知識・技能の定着を図っている。</p>	<p>上の位置のあらわし方、地球儀を使った方位と距離のはかり方、など37の事例を記載している。</p>		<p>断・表現する活動を示す「言語活動コーナー」を記載している。学習内容を深めていくことができる「地理+α」を記載している。必要な技能を詳しく解説している「スキルUP」を記載している。作業学習「トライ」を記載している。実際にそこに住む人々の言葉を紹介している「声」を記載している。</p>	
--	---	---	--	--	--